

民生文教委員会

●平成28年度一般会計予算 ～地域医療推進費～

Q 新たに開院するふくろいマタニティクリニックと新たな医師の確保により産科を再開する笠原産婦人科に対する補助金を計上しており、分娩の取り扱う医療機関が中東遠総合医療センターを合わせると3カ所になる。今後のニーズに十分応えられるか。

A 1年間の出産数は約1,000人であり、市内における産婦人科の開院や再開により、市内での分娩を希望する方への需要にも応えていくとともに、多胎分娩などについては中東遠総合医療センターで分娩するなど、医療のすみ分けもしっかりできてくると考える。

●国民健康保険税条例の一部改正について

Q 条例の一部改正に伴い、仮算定方式を廃止することで第1期の納期が7月に変更されるが、財源に支障は生じないか。また、7月の納期までどう対応していくのか。

A 今回の改正による7月までの資金繰りについては、前年度繰越金や一般会計繰入金、保険給付等支払準備基金の取り崩し等で対応していきたい。なお、平成27年7月末現在における収支状況により、財源は賅えると判断し今回の改正に踏み切ったものである。



ふくろいマタニティクリニック(左)、笠原産婦人科(右)



総務委員会

●平成28年度一般会計予算 ～情報管理費～

Q 「フィックスマイストリート」は道路の補修・管理状況などについて、情報機器を用いて市民と行政間で情報連絡を行うとのことである。市民からの情報に対し市職員はどのように対応するのか。

A 市民の皆さんが日常生活の中で、道路の陥没やゴミの不法投棄などに気づいた時にタイムリーに行政に対し、情報を提供するシステムとなっている。最大の利点は、24時間、休日等に関係なく行政に情報提供できることである。また、情報を受けた担当課は、その情報に対する対応結果を情報提供者に回答することを予定している。

●平成28年度一般会計予算 ～防災費～

Q 災害時情報収集器機として、ドローンを購入予定だが、何機購入するのか。また、具体的な活用方法はどのようになっているのか。

A ドローンは1台を購入する予定である。また、活用方法は、災害発生時における上空からの被害状況の把握、平時には、命山や防潮堤の進捗状況などの空撮、イベント時の活用、さらには、ドローンの利活用について研究を進めている静岡理工科大学や防災協定を締結している県測量協会、アマチュア無線協会などと連携し、より効果的な活用方法を検討していく。



ドローン